

## 大谷川源流ゲンジボタル再生に成功

大谷川は春日井市東部丘陵弥勒山を水源に大谷北池、築水池、宮滝大池を経て廻間町岩船神社東側至りここを源流とします。

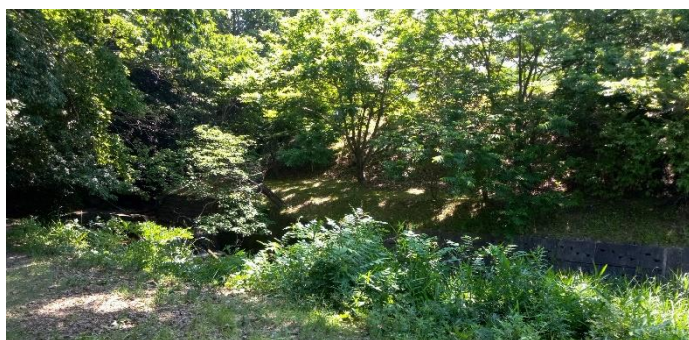
当時(平成17年)は右の写真の如く右岸、左岸とも草が生い茂りゴミの捨て場所でした。

みどりのまちづくりグループはこの地をゲンジボタルが乱舞する緑豊かな里山の原風景を取り戻すべく、下記の如き活動を積み重ね、やっと3年程前よりボタルが飛び交う環境になり、本年も6月に入り徐々に飛び始め昨日、今日沢山とぶようになりました。



平成17年大谷川源流の右岸左岸の風景

令和3年5月の大谷川源流の風景



### 活動の歴史

- 1, 平成17年4月中部大学応用生物学科の学生と協働ゲンジボタルビオトープづくりプロジェクトスタート
- 2, 平成17年6月ゲンジボタルの食用になるカワニナ調査



- 3, 平成18年3月中部大学応用生物学科鶴田君春日井のゲンジボタル現状とディスカッション



- 4, 平成18年6月14日ゲンジボタル数匹発見



5, 水質調査調査は平成16年より実施

5, 平成19年1月より大谷川クリーン作戦開始、以来毎年行っています。



6, 平成19年1月源流左岸植樹、右岸花壇の許可申請(協議依頼書)を尾張建設事務所所長に申請(添付)

7, 平成19年4月占用許可(添付)

8, 平成19年4月、11月左岸に、中日新聞社の後援を三菱UFJ環境財団の御支援のもと、ヤマボウシ、ヤマザクラ、オニグルミ、等13種、1000本植樹以降、毎年4回/年下刈り等の育樹活動が続ける。

中日新聞社の後援、取材、新聞掲載も頂きました。



大谷川植樹祭



中日新聞に開催された大谷川植樹祭



9, 平成19年7月右岸花壇活動開始



10, 3年程前より6月にゲンジボタルの飛ぶ量が多くなり本年は6月に入り連日乱舞するようになりました。令和3年6月 9日ホタル撮影(提供増田氏)

